

観光地ガイド

施設名	住所	電話番号	営業時間	定休日	一般入場料	駐車場	Map
屋島	高松市屋島東町	087-841-9443 (屋島山上観光協会)	—	—	—	400台 ※ドライブウェイ 普通車60円・ケーブル700円	N2
四国村	高松市屋島中町91	087-843-3111	8:30~17:00(11~3月・~16:30)	無休	800円	200台	O3
玉藻公園	高松市玉藻町2-1	087-851-1521	8:30~17:00(季節により変更有)	無休	200円	57台	C1
栗林公園	高松市栗林町1-20-16	087-833-7411	7:00~17:00(季節により変更有)	無休	400円	有料あり	M3
瀬戸内海歴史民俗資料館	高松市亀水町1412-2	087-881-4707	9:00~17:00(入館~16:30)	12/29~1/3	220円	50台	I2
高松平家物語歴史館	高松市朝日町3-6-38	087-823-8400	9:00~17:30(入園~17:00)	無休	1200円	126台	M3
高松市歴史資料館	高松市昭和町1-2-20 サンクリスタル高松4階	087-861-4520	9:00~17:00(入館~16:30)	毎週月曜	200円	共同あり	L3
菊池寛記念館	高松市昭和町1-2-20 サンクリスタル高松3階	087-861-4502	9:00~17:00(入館~16:30)	毎週月曜	200円	共同あり	L3
石の民俗資料館	木田郡牟礼町牟礼1810	087-845-8484	9:00~17:00	毎週月曜、毎月月末	200円	50台	P2
屋島山上水族館	高松市屋島東町1785-1	087-841-2678	9:00~17:00	無休	1020円	あり(山上駐車場)	N2



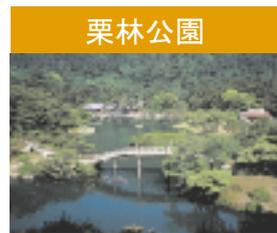
源平合戦の舞台として有名な屋島は、瀬戸内海国立公園にある半島形溶岩台地。瀬戸内海屈指の展望といわれ、展望台からは海を行き交う船舶や瀬戸大橋、讃岐平野が一望でき、眼下には檀ノ浦の古戦場が広がる。



四国各地から移築された民家33棟を復元した野外博物館。国指定重要文化財の民家「旧河野家住宅」をはじめ、小豆島の「農村歌舞伎舞台」や坂出の「砂糖しめ小屋」など、歴史的に貴重な建物が立ち並ぶ。



日本三大水城としても知られる高松城は、1587年生駒親正によって築かれ、現在は良櫓などが重要文化財として残っている。昭和30年より玉藻公園として公開され、特に花見シーズンは多くの観光客でにぎわう。



国の特別名勝である栗林公園は、6つの池と13の築山をもつ回遊式大名庭園で、高松藩主生駒氏・松平氏の下屋敷として、100年余りをかけて完成した。四季折々の花々の、一步一景といわれる変化に富んだ美しさを堪能できる。



瀬戸内海が一望できる五色台の山上に位置する、瀬戸内の人々の生活文化に関する資料を展示した施設。伝統的な漁撈用具や生活用具などの民俗資料や、船絵巻をはじめとした海運関係の歴史資料などが展示されている。



平氏の栄枯盛衰を描いた「平家物語」の名場面を約300体の等身大のろう人形によって再現した、日本最大規模のろう人形館。また、併設された「四国の偉人コーナー」には坂本龍馬など約40体が展示されている。



高松市の歴史を学び親しめる資料館。常設展示として原始・古代から近・現代までの高松市の歩みを時代順に紹介しており、重要文化財の田村神社古神宝類や、高松藩御座船飛龍丸の模型などが展示されている。



1888年に高松市で生まれ、『父帰る』真珠婦人』など多くの作品を残し、また文藝春秋社の創設者としても知られる菊池寛の功績を称えた記念館。写真や映像もまじえ、数々の遺品が展示されている。



400年に渡って築き上げられた牟礼町の石の文化に触れることができる資料館。大正末期から昭和初期における、石の切り出し、運搬、加工のそれぞれの風景を、等身大の人形を使ったジオラマで再現している。



標高300mの山上に位置する、全国でも珍しい水族館。瀬戸内海、南四国に棲む魚たちのほか、マナティやピラルクなど世界のさまざまな海の生物を観察できる。また、屋外ではアシカやイルカのショーも行われている。



本場のさぬきうどんもぜひご賞味下さい。

お問い合わせは

〒760-8571 香川県高松市番町1-8-15 高松市観光課
TEL 087-839-2416 FAX 087-839-2440

ホームページでもご覧いただけます。

<http://www.city.takamatsu.kagawa.jp>



このMAP作成にあたり、遍路道コース付近の食事・休憩所・宿泊施設・観光地情報を、関係者の協力により掲載しました。多くの市民の「おせたい」で遠来からのお遍路さんがゆっくりと廻れる高松路をお過ごしになれますように、このMAPが活用されれば幸いです。